

◎ 美術館情報

【各施設では、下記の特別展・企画展等のほか、常設展を開催しております】

美術館は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休館、展覧会の開催期間が変更になっています。状況が日々変動しているため、お出かけの際は、公式ホームページなどでご確認ください。

1. 岐阜県現代陶芸美術館【岐阜・多治見】 (http://www.cpm-gifu.jp/museum/02.exhibition/02_3.exhibition.html)

4月25日(日)～7月5日(日) ※5月7日(木)まで臨時休館 開幕日未定

企画展： ルート・ブリュック 蝶の軌跡

フィンランドを代表する芸術家、ルート・ブリュック。名窯アラビア窯専属のアーティストとして長年にわたり活動し、20世紀半ばに世界を魅了した北欧のデザイン・工芸ブームの一翼を担いました。本展は陶器、テキスタイル、版画などおよそ200点の作品を通じて、ブリュックの創作の軌跡をたどる、日本で初めての回顧展です。工芸やデザインといったジャンルに縛られることなく、自由な発想と豊かな色彩感覚で独自の世界を生みだし続けたブリュック。日々の暮らしに向けられた温かな眼差しや、ダイナミックな作風の変遷をご紹介します。



2 愛知県陶磁美術館【愛知・瀬戸】 (<https://www.pref.aichi.jp/touji/exhibition/>)

6月13日(土)～7月26日(日)

企画展： 日本陶磁の源・陶邑窯

—猿投窯の前に立ちはだかった巨大な壁—

古墳時代に始まる国内最古の陶磁器・須恵器。この生産を牽引したのが大阪府の陶邑窯です。本窯は、新来のロクロの技術を駆使し、新たな造形を次々と生み出しながら、奈良時代に至るまで最大の陶産地として君臨しました。陶邑窯の作風の軌跡と歴史的意義に迫ります。



3 滋賀県立陶芸の森 陶芸館【滋賀・甲賀】 (<https://www.sccp.jp/exhibitions/12379/>)

6月13日(土)～9月22日(火)

特別企画展：「湖国・滋賀の陶芸 —風土と伝統そして交流のなかで—」展

古来より風光明美な景勝地として、多くの人々に親しまれてきた湖国・滋賀。びわ湖を抱くこの地の大地は良質の陶土を育み、豊かなやきもの文化をつくりだしてきました。今日ではそうした風土や伝統に魅せられ、信楽をはじめ各地で幅広いつくり手が作陶活動を展開しています。また、陶芸の森のレジデンス事業を通じた交流は、滋賀の陶芸に国際性と多様性をもたらしてきました。彼らはこの地の風土と伝統そして交流のなかで、どのようなやきもの表現を探求しているのでしょうか。本展では、滋賀を拠点に活動するつくり手たちの取り組みを通して、現代の多彩な陶芸を展望します。

